

きいて・めもして・こたえよう

スーパーの 店長さんの 話

なまえ
名前

聞くめあて

「売り場の くふう」を、番号をつけてメモしましょう。

①

②

③

④

⑤

放送が終わったら、開いて問題に答えましょう。

やまおり

(1) 入り口の 近くには、どんな ものを ならべますか。あう ものに ○を つけましょう。
ア 新しく 安い やさいや くだもの
イ おかし
ウ のみもの

(2) 牛にゆうや たまごを 店の おくに おくのは、なぜですか。あう ものに ○を つけましょう。
ア 歩く うちに ほかの しなものも 目に 入るから
イ おもいから
ウ こおるから

(3) 切り分けた 魚には、何を 書いた 紙を つけて いますか。

(4) 店長さんは、どんな お店を 目ざして いますか。

すすめ方

- ① 中央の点線で山折りにして、「めも」の面だけを表にする（問題を先に見せない）。
- ② この放送文を先生が読む（または用意した音声を流す）。読む回数：2回。聞きながらメモを取らせる。
- ③ 放送が終わったらプリントを開き、メモを見ながら問題に答えさせる。

放送文

スーパーマーケットの 店長さんに、売り場の くふうを 聞きました。

「まず、入り口の 近くには、その日 一番 新しくて 安い やさいや くだものを ならべます。お客さんに、しゅんの ものを 見て もらう ためです。」

「次に、牛にゅうや たまごなど、毎日 買う ものは、店の おくに おきます。お客さんが 店の中を 歩く うちに、ほかの しなものも 目に 入るからです。」

「それから、切り分けた 魚には、りょうりの しかたを 書いた 紙を つけて います。買った人が こまらないように する くふうです。」

「お客さんが、また 来たいと 思う お店を 目ざして います。」

メモのれい

- ①入口 新しく安い やさい・くだもの（しゅん）
- ②牛にゅう・たまご おく（歩く→他も目に入る）
- ③魚 りょうり方を 書いた紙
- ④また来たい お店

こたえと かいせつ

(1) ア

「入り口の 近くには、新しくて 安い やさいや くだものを ならべます」と 言って いました。

(2) ア

「歩く うちに、ほかの しなものも 目に 入るからです」と、わけを 言って いました。

(3) りょうりの しかた

「りょうりの しかたを 書いた 紙を つけて います」の 部分です。

(4) また 来たいと 思う お店

「また 来たいと 思う お店を 目ざして います」と 言って いました。